

2021年5月18日

「シャトー・メルシャン」の新たな産地「片丘ヴィンヤード」の名を冠した初ヴィンテージとなる3商品を新発売 「シャトー・メルシャン 片丘ヴィンヤード」シリーズ新発売

～「日本を世界の銘醸地へ」を目指し、長野県塩尻市から「桔梗ヶ原」と並び「片丘」を新たな産地として確立～

メルシャン株式会社（社長 長林道生）は長野県塩尻市の自社管理畑「片丘ヴィンヤード」のブドウを使用し、た「シャトー・メルシャン 片丘ヴィンヤード」シリーズとして、「シャトー・メルシャン 片丘ヴィンヤード メルロー & カベルネ・フラン 樽選抜 2019」、「シャトー・メルシャン 片丘ヴィンヤード メルロー 樽選抜 2019」、「シャトー・メルシャン 片丘ヴィンヤード 2019」を9月下旬より、梔子ワイナリー、勝沼ワイナリー、桔梗ヶ原ワイナリー、キリンオンラインショップ「DRINX」にて新発売します。また、「同 片丘ヴィンヤード メルロー & カベルネ・フラン 樽選抜 2019」については「シャトー・メルシャン プレステージ・パスポート 2021-2022」でも発売します。

「シャトー・メルシャン」は、「適地・適品種」の考えのもと、ワイン用ブドウの栽培に適した産地を確保・育成し、その地にふさわしい品種の栽培に取り組んできました。塩尻市には、「シャトー・メルシャン 桔梗ヶ原ワイナリー」があり、「桔梗ヶ原ヴィンヤード」では、海外でも高く評価され続けている「シャトー・メルシャン 桔梗ヶ原メルロー」のブドウを栽培しています。「片丘ヴィンヤード」は同ワイナリーの「桔梗ヶ原ヴィンヤード」と並びブドウの産地として2015年に開園し、2017年より植樹を開始しました。今回発売する3アイテムは「片丘ヴィンヤード」の名を冠した初ヴィンテージとなるワインです。

キリングroupは世界のCSV※1先進企業を目指し、「酒類メーカーとしての責任」を前提に、「健康」「地域社会・コミュニティ」「環境」の社会課題の解決に重点的に取り組んでいます。「シャトー・メルシャン」は、今回新たに「シャトー・メルシャン 片丘ヴィンヤード」のワインを発売する事で「片丘」地区のブランド価値と産地の価値向上を目指し、地域の活性化に貢献するとともに、日本ワイン産業さらなる発展を図ります。

※1 Creating Shared Value の略。お客様や社会と共有できる価値の創造

●商品紹介

「シャトー・メルシャン 片丘ヴィンヤード メルロー & カベルネ・フラン 樽選抜 2019」について

メルローとカベルネ・フランを同時期に収穫し混ぜて仕込むことで、メルロー由来の黒い果実にほのかにスパイシーなニュアンスとカベルネ・フラン由来のみずみずしさと華やかさが一体となる、^{ふくいく}馥郁とした香りのワインに仕上げました。

「シャトー・メルシャン 片丘ヴィンヤード メルロー 樽選抜 2019」について

片丘ヴィンヤードのメルローを100%使用し、ブラックベリーやブルーの黒い果実にほのかなスパイシーさが感じられるしっかりとしたワインです。若いぶどう樹の生き生きした個性を表現すべくバランスのとれたワインに仕上げました。

「シャトー・メルシャン 片丘ヴィンヤード 2019」について

メルローとカベルネ・フランをバランスよくブレンドしました。黒い果実にほのかにスパイシーなニュアンスのメルローにカベルネ・フランの華やかさが加わることで複雑さとまとまりのあるワインに仕上げました。



メルシャン株式会社は、ワイン事業スローガン「ワインのおいしい未来をつくる。」のもと、ワインのある豊かな時間を通じて、人と人とのつながりを楽しんでもらうよう、さまざまな提案を続けていきます。

記

- | | |
|-------------|--|
| 1. 商品名・色 | ①「シャトー・メルシャン 片丘ヴィンヤード メルロー & カベルネ・フラン 樽選抜 2019」 赤
②「シャトー・メルシャン 片丘ヴィンヤード メルロー 樽選抜 2019」 赤
③「シャトー・メルシャン 片丘ヴィンヤード 2019」 赤 |
| 2. 容量・容器 | 750ml・びん |
| 3. カテゴリ・分類 | 果実酒 |
| 4. 発売日・発売地域 | 2021年9月下旬・ワイナリーおよびキリンオンラインショップ「DRINX」限定 |
| 5. 価格 | オープン価格 |

以上